

我孫子市環境レンジャー通信  
No65  
(平成28年4月発行)

# たまっけ

(発行)  
我孫子市環境レンジャー  
(連絡先)  
我孫子市手賀沼課  
04-7185-1111(内線468)

「たまっけ」とは昭和35(1960)年頃まで手賀沼でもたくさん棲んでいたカラスガイのことです。今はほとんど見られません。環境レンジャーは、我孫子の自然環境を市民に伝え、市民といっしょに考え、守り育ててゆくために結成されました。みなさん、いっしょに美しい我孫子を守り育てましょう。

## 手賀沼周辺の特特定外来種(3)

### 手賀沼で釣ったらぜひ駆除してほしい特定外来生物ブラックバス

(手賀沼水生生物研究会 半沢 裕子)

#### 野外に放つと罰金1億円!?

手賀沼の大津川河口や下手賀川などでは、現在もブラックバスを狙うバス釣り人の姿を見かけるが、日本で通称ブラックバスと呼ばれるオオクチバスとコクチバスは、2005年に外来生物法が施行されたとき、いち早く特定外来生物に指定された魚だ。

特定外来生物とは「外来生物(海外起源の外来種)であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものの中から指定される」と環境省のホームページに説明されているが、要は日本の山野に生息・定着すると、もともとあった生態系や生物相に深刻なダメージを与えると考えられる生物種。外来生物法でこれに指定されると、飼育や輸入や野に放つことが強く禁止される。罰則もきびしく、違反すると個人で3年以下の懲役や300万円以下の罰金、法人では1億円の罰金が科される。



**オオクチバス(通称:ブラックバス)**  
全長30~50cm。湖沼やため池、河川の中下流域に生息する。雌一匹当たりの抱卵数は2,000~145,000個。  
(環境省HPより)

ブラックバスは、北アメリカ原産の大型魚で、スズキ目サンフィッシュ科ミクロプテルス属。オオクチバス、コクチバスを含む8種がこの属に分類されている。

#### 日本初移入時から害魚論

日本に最初に移入されたのは1925年、神奈川県の実業家の赤星鉄馬氏が食用と釣りの対象魚として持ち込んだとされている。当時すでに害魚論があり、持ち込まれた先が芦ノ湖だったのも、他の水系につながっていない閉鎖水系だったからと言われている。その後50年ほどは、駐留米兵などによっていくつかの湖沼に持ち込まれたものの、むやみに広がることはなかった。1964年時点で生息していたのは5県、1969年で11県である。

事態が変わったのは1970年代。1974年で23県、1979年に40都府県になり、1988年には45都府県、2000年頃には全都道府県で確認されるようになった。北海道は移入が確認された直後から強力に駆除と密放流対策に取り組み、2007年に一掃宣言を出した。最も効果的かつ安価な外来生物対策は、初期に集中して行う駆除であることを示す好例だろう。

ブラックバスが突然生息域をすさまじい勢いで広げたのは、まさに密放流のためと考えられる。

アメリカで流行したトーナメント方式のブラックバス釣りが日本に持ち込まれると同時に、この魚は各地に広がった。そして、「なぜかそこにいるバス」を釣るトーナメントがバス釣り団体によって開催され、参戦するバスプロが急増し、バス釣り雑誌はこれを大々的に喧伝し、釣具店は人気バスプロがプロデュースしたバス釣り具を販売し、バス釣り愛好者が多数「バス湖」に押し寄せた。

#### 手賀沼にもブラックバス!

手賀沼はブラックバスに関しては不思議な湖沼で、1970年代には早々と密放流され、その後も繰り返し密放流されてきた形跡がある。にもかかわらず、なぜか爆発的に増えない。あるバスプロは数年前、手賀沼でまったく釣れなかったのはコイのせいだろうと雑誌に書き残している。

## 水鳥のヒナ、ネズミ、ヘビまで食べる

当然、ブラックバスが増えた湖沼では在来の魚類が激減し、漁業者などから激しい批判の声が上がった。生物相への影響を懸念し、バスの密放流を批判したり、駆除に乗り出す市民や研究者も現れた。何しろ、大型化すると60センチを越え、1キロ育つのに10キロの餌を必要とするとも言われる魚である。バス問題が表面化した当初は、バス釣り関係者が「ブラックバスがワカサギを食べているという証拠はない」などと放言することもあったが、駆除に取り組む市民や研究者は2000年代には外来魚の腹を一尾一尾開け、食べたものを確認するようになった。その結果、今日ではブラックバス(オオクチバス)が日本でワカサギなどの魚類ばかりか、水鳥のヒナやネズミ、ヘビなどまで食べていることが明らかになっている。

そして2004年に外来生物法が成立するが、施行までの1年間、特定外来生物にどの生物種を指定するかを選定する専門家会議が開催される。ここで、あまりに関係者の言い分がぶつかったため、小委員会が設けられた種が2つある。

セイヨウオオマルハナバチとブラックバスである。この2種が決定的に違うのは、密放流の有無だ。トマトなどの受粉にセイヨウオオマルハナバチを利用している農家は利用を継続したいため、このハチが野外に漏出しないよう積極的に対策する。しかし、ブラックバスは先に書いたように「なぜかそこにいる」状態を利用したい不特定多数が存在するため、密放流＝野外での持ち運びがとまらないのだ。密放流者の手を少しでもとめるには強い罰則のある法律が不可欠であり、ブラックバスが施行時に特定外来生物に指定されることも不可欠だった。指定されて本当によかったと言える。

## 釣ったら駆除をお願いしたい。

手賀沼にブラックバスが生息しているのは間違いない。そして、生きものはちょっとした変化で急に増えることもある。もしも今後、ブラックバスが急増するきざしが見られたら、早急に対策することが必要となるだろう。とりあえず、釣り人のみなさんには釣ったバスを再放流せず、1匹でも多く駆除していただければありがたいと思う。

## 環境レンジャー活動報告(ネイチャーイン)

### 手賀沼の冬鳥船上観察会

(環境レンジャー 染谷 迪夫)

1/31(日)今回も昨年に引き続いて、我孫子野鳥を守る会と共催で船上から、参加者27名で探鳥を実施した。昨年もそうだったが、陸から見るよりも、視点が低く、迫力があつた。移動中のボートから見るので、動的な探鳥であった。ボートの移動につれて、水鳥の群れが飛び立つときや、着水する様子が壮観だった。特にコガモの群れ、ヒドリガモの群れ、カルガモの群れ等よく目についた。ミサゴが上沼、下沼に出てくれてラッキーだった。我孫子野鳥を守る会の桑森さん、松本さんが鳥の説明を担当し、簡潔で分かりやすかつた。好天に恵まれ、参加者は楽しそうだった。認めた鳥は以下の通り。

(水鳥) コブハクチョウ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、ミコアイサ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、カイツブリ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ

(陸鳥) ミサゴ、カワセミ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ミヤマガラス、ツグミ、ハクセキレイ、アヒル(番外) 計27種

## 急げ！環境レンジャーサポーター募集中！

我孫子市が、我孫子の自然環境を紹介し、環境に対する気持ちを育てていく、我孫子市環境レンジャーの活動に興味のある方を“環境レンジャーサポーター”として、募集しているよ。

### (主な活動内容)

- ・子どもに向けた環境学習のサポート(5~8回/年)
- ・ネイチャーイン(自然へのふれあい)活動のサポート(4回/年)
- ・もちろん可能な範囲内でのご参加も大歓迎です。

### (対象・定員)

- ・特に制限はありません

### (問合せ)

我孫子市役所手賀沼課手賀沼担当 ☎ 04-7185-1484

まずは、一緒に活動してみよう！



## 環境レンジャー活動報告(環境学習) 紙飛行機工作と飛行大会

(環境レンジャー 荻野 茂)

3/20(日)手賀沼親水広場の研修室で“紙飛行機工作と飛行大会”を開催しました。事前申込は26人でしたが、総勢61人で大賑わいの飛行大会となりました。今回は新聞のチラシを再利用して作るふわふわ飛行機、すうーと飛行機、滞空飛行機の3機種とケント紙で作る曲技飛行機とホッチキスpeg飛行機の2機種に取り組みました。

最初のふわふわ飛行機は折り方もあまり難しくありませんが、小さい子ども達は保護者の手伝いも借りて、また、お父さんは昔折った頃のことを思い出しながら出来上がったところで、飛行大会を行いました。予想以上に飛んだことには大はしゃぎの子ども、直ぐに墜落して黙り込む子どもと様々です。レンジャーのアドバイスで飛ぶ工夫をして飛ばすにつれ、ふわふわ飛行機はその形の通りイカが海で泳いでいるように飛び、ますます熱中し楽しさが倍増していきました。次に、すうーと飛行機、滞空飛行機、曲技飛行機と順番に工作しては飛行大会で出来映えを競い合いましたが、よく飛ぶ機体は折り目に沿って正確に折ったものが良く飛ぶ秘訣と解ってきたようでした。

最後にホッチキスpeg飛行機に取り組みました。山折、谷折にかなり手こずりながら完成させ、機体の頭部下のフックに輪ゴムを引っかけて飛ばします。浮力を生じさせる主翼と尾翼を含め角度調整したpeg飛行機は、会場のステージから約25m以上の滞空飛行ができました。

子どものみならず保護者まで全員が熱中し、夢中になった2時間の飛行大会でした。



### 環境レンジャーのこれからの予定(詳しくは「広報あびこ」を見てね!)

参加費は、すべて無料です。

お申し込み、お問い合わせは、我孫子市手賀沼課(04-7185-1111(内線468))まで

#### 平成28年5月8日(日) エンジョイ手賀沼! 2016



環境レンジャーのブースで身近な生き物、野鳥、チョウチョウ、トンボのぬり絵を楽しみましょう。参加者には特製野鳥カードをプレゼントします。

時間: 午前9時~午後15時

場所: 手賀沼親水広場手賀沼課テントブース

#### 平成28年5月21日(土) 春のネイチャーイン~春の鎌倉道散策~



いざ鎌倉へ、いにしへの鎌倉道を散策しながら、平将門に由来する史跡などに触れながら自然豊かな鎌倉道をネイチャーインします。

時間: 午前9時~12時

場所: JR新木駅南口集合、湖北駅解散

**平成28年7月21日(木)、28日(木)**  
**環境学習**  
**～夏休み恒例！紙粘土で花びんを作ろう～**



使用済み空きびんの再利用です。空きびんに紙粘土を巻きつけ好きな装飾して（カブトムシやフクロウなど）世界に1つの花びんを作ろう。

時間：午前9時30分～11時30分  
 場所：アビスタ工芸工作室

**平成28年7月30日(土)**  
**谷津ミュージアムでのホタル鑑賞**  
**～夏の夜の観察会～**



我孫子の自然を残している谷津ミュージアムでホタルが暗闇の中を幻想的な光を放ちながら飛び回る様子を観察しましょう。

時間：午後7時～8時30分  
 場所：JR東我孫子駅南側広場に集合

**平成28年7月27日(水)**  
**船上から手賀沼の自然・環境を観察しよう**  
**～観光船に乗って手賀沼を一周～**



豊かな環境に恵まれた手賀沼を船上から観察して手賀沼の不思議と自然の楽しさを発見しよう。

時間：午前9時30分～11時30分  
 場所：手賀沼公園小池ボート乗り場前

**平成28年10月2日(日)**  
**手賀沼水辺探検**  
**～手賀沼の魚を獲って観察しよう。**  
**どんな魚に遇えるかな～**



モンドリ（カゴ網）を使って漁をし、獲った魚を観察。漁師さんの漁の実際を見学します。

時間：午後1時～2時30分  
 場所：手賀沼フィッシングセンター周辺



《編集後記》

春になり、あちこちで植物は芽吹き、動物たちは姿を見せだしました。暖かい日は外に出でて、春の色や匂い、音などを感じてみてはいかがでしょうか。わくわくするような新しい発見があるかも知れません。

『たまっけ』へのご意見、ご感想もお待ちしています。  
 （環境レンジャー 継岡 伸彦）